

令和 4 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

1. 施設の概要

施設名	障害者生活支援センター	所管課	障がい福祉課
所在地	岐阜市都通二丁目2番地		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市身体障害者福祉協会		
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,389,000/年		
施設の設置目的	在宅の障がい者に対し、在宅福祉サービスの利用援助、介護相談、情報の提供等を総合的に行うことにより、障がい者やその家族の地域における生活を支援し、在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を図る。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造8階建のうち1階の一部 ◇延床面積:99.39㎡ ◇施設内容:事務室、相談室1・2		

2. 利用状況

		R4 下半期	R4 上半期	R3下半期	R3 上半期	R2 下半期
利用者数(単位:人)		219	126	119	98	161
各室稼働状況(人)	事務室(電話、メール、FAX)	65	39	30	36	61
	相談室1(来所)	26	13	22	12	10
	相談室1(関係機関、その他)	38	37	33	29	38
	相談室1(総合支援コーディネーター事業)	4	4	8	13	5
	相談室2他(企画事業利用等)	73	33	19	0	42
	その他(訪問、同行、個別支援会議)	13	0	7	8	5

3. 業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①開館日・開館時間の遵守 事業計画のとおり実施 ②適切な人員配置 常勤職員4名 非常勤職員2名 (内、相談支援専門員3名) ③広報の方策 ・ホームページ(主な掲載内容) センター概要 講習会・講座の実施内容 福祉機器・自助具の紹介 機関紙「たびだち」 イベントの情報 ・機関紙「たびだち 70・71号」11月1日、3月1日発行 各 3,500部 (内訳) 特別支援学校、小学校、中学校 120部 関係福祉団体 2,130部 岐阜市身体障害者福祉協会 (1,900部) 岐阜市視覚障害者福祉協会 (30部) 岐阜市聴覚障害者協会 (30部) 他6団体 (170部) 福祉施設 1,050部 その他 200部 ・チラシ(センター事業、各種講演会・講座) ④意見・苦情への対応 苦情なし

区分	確認事項	履行状況
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②備品管理	①日常・定期清掃業務 ・岐阜市社会福祉協議会により毎週火・金曜日に清掃、4か月毎に床ワックスがけが行なわれている。(11/12、3/11) ・事務室はセンター職員が出勤時毎日テーブル、手すり等必要個所を除菌消毒し、マスク着用を行っている。 ・常時換気にも気を付けている。 ・建築設備点検 (10/7) ・空調機器保守点検 (10/24) ②備品管理 備品 : 111点保有 福祉機器等貸し出し : 1件
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	修繕の実施なし。 ノウハウを生かした修繕なし
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	① 個人情報の保護 ・年度当初の研修において、個人情報保護条例等の周知を図り、個人情報保護の具体的事例を説明して、その情報の保護に努めている。 ・ホームページや機関紙等に掲載する個人情報(写真等)は、本人等から肖像権の使用同意書を受理して掲載している。 ・個人情報が記載されている文書等は、書庫に施錠して保管している。職員が各自使用するパソコンは、年度当初にパスワードを変更して、本人以外はパソコンに保存された情報を閲覧できなくしている。 ② 非常時の対応策 ・自動火災報知設備等保守点検 (1/6) ・岐阜市民福祉活動センター合同消火避難訓練 (11/17) また、職員に避難マニュアルを配布し、事務室内に「緊急時避難経路図」を掲示して周知を図っている。 ・新型コロナウイルス感染症対策については以下のとおり実施した。 ・毎日、密集・密接・衛生対策の実施状況を管理。 ・職員の健康管理並びにコロナ感染及び濃厚接触が疑われる場合のマニュアルを作成して職員に周知した。 ・企画事業開催時にはチェックシートを使い、事前・会場・開催時対策のチェックを行っている。 ・企画事業の参加者に事前にチェックシート(企画事業の参加の適否確認用)を送付して理解を求め、当日チェックシートを回収して、本人の健康状態等を確認している。 ③関係法令の遵守 ・地方自治法、障害者基本法等の施設運営に関連する法令・規則等について、月例会などで随時説明し職員に周知し遵守している。

4. 利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室並びに生活講座・企画講座等の会場において、アンケート(無記名)を随時行い、来所者・参加者等の満足度、要望等を把握している。 ・ホームページの「お問い合わせフォーム」により利用者の相談や問い合わせを受付している。
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>① 来所者へのアンケート実施結果 計10名 (男性 7名、女性 3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年 齢 (10代 2名、30代 2名、50代 4名、60代 2名) ・交通手段 (車 4名、自転車 1名、徒歩 1名、公共乗り物 4名) ・スタッフの対応 (満足 10名) ・施設等の管理 (満足 10名) ・来所理由 (相談 9名、見学等 1名) ・結果・内容 (満足 6名、やや不満足 1名) <p><主なコメント></p> <p>「生徒が今後相談できそうに感じたので良かったです」 「とても丁寧に対応いただきありがとうございました」</p> <p>② 生活講座「交通安全教室」(10/23)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 (身体障がい者4名、聴覚障がい者1名、知的障がい者3名、精神障がい者1名)計9名 家族・支援者・ガイドヘルパー等5名 総計14名 (男性4名、女性5名) ・年 齢 (20代3名、30代2名、60代1名、70代1名、不明2名) ・講座を知ったのは (広報ぎふ2名、相談支援専門員2名、福祉の事業所2名 身障相談員2名、その他3名) ・講座について (すごく勉強になった6名、やや勉強になった4名) <p><主なコメント></p> <p>「安全確認をしているつもりでも、していないことがわかりました。明日から通勤も今日の教室を生かして安全確認はくどいほどやりたいと思います。確認したら止まると心がけます」 「大変ためになりました。今一度反省して運転等気を付けます」</p> <p>③ 自助具講習会 (11/12) 3名(男1名、女2名)(介護支援専門員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自助具のミニ講座については (知れてよかった 3名、当事者の方に教えてあげたい 2名 既に使用して 1名) ・活用してみて「便利だと思った自助具」は (ペットボトルをあけるもの) (すべりどめマット(食器の下に敷き使用)) ・自助具の制作をしてみてもいいか (簡単だった 0名、普通 3名、難しかった 0名) ・今回制作していただいた自助具について (当事者の方に教えてあげたい 2名) ・その他 (今後必要になる方が見えたら参考にさせていただきたいと思います。) <p><主なコメント></p> <p>「貴重な体験をすることが出来ました。普段当たり前に出来ていることの大切さを改めて感じました」 「最近薬が一包化されている事が多いので、本日教えて頂いたものを参考にして個々の方に役立てられる自助具を利用者の方と一緒に作れたらと思いましたし、思える機会になりました」</p> <p>④ 生活講座「KYT研修会」(3/2) 参加者 15名 (当事者10名、支援者等5名) 当事者内訳 (身障1名、知的7名、重複2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災について気を付けなければならないことに理解が出来たか? (よく理解できた 8名、まあまあ理解できた 3名、あまり理解できなかった 1名) ・話の内容が参考に成ったか? (とても参考に成った 8名、多少参考に成った 1名、少ししか参考に成らなかった 1名 まったく参考に成らなかった 1名) ・誰かに伝えたいか (大いに伝えたい 7名、伝えたい 3名、まったく伝えたいとは思わない 1名) <p><主なコメント></p> <p>「いろいろな場面で火事がおきることがわかってよかった」 「イラストでよく分かり易く楽しく学べた」</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対応・改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情や問題に対応するため、「苦情対応マニュアル」を定めている。今期、特に苦情や問題はなかった。 ・利用者の意見・要望等の受付に際して、ピアカウンセリングの視点に立ち、当事者を尊重した対応に心がけた。

5. 指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者等へのアンケートやホームページでの意見聴取。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・指定管理者が発行する機関誌やホームページの活用。	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・新規の生活支援事業、既存事業の見直し。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・医療機関、学校、地域包括支援センター等各関係機関からの情報収集、連携ルートの確立。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・貸出や展示物品の利用方法や効果の案内・説明方策の提案、講習会の開催。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・ピアカウンセリングや訪問相談等の回数。	B	B	B
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者へのアンケート実施、ホームページでの意見聴取。	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	収支計画の妥当性	・収支計画に沿った運営。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・企画事業の製作費用削減、相見積りによる比較。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・職員配置と勤務状況。	A	A	A
		区分評価			A	
安全性 安定性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	障がい者への相談支援に関する事業、業務などの実績	・関係機関や市内相談支援事業者等への情報提供、助言、指導。 ・相談業務の実績。	B	B	B
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・管理責任者を配置。 ・相談支援専門員を配置。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・相談支援の質の向上のための内部研修の実施。 ・外部研修及び講習への参加。	A	A	A
		区分評価			A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・総合支援協議会、芸術祭、相談支援連絡協議会等における部会運営参画。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・出前講座実施、理解啓発イベントの企画・参画、行政機関等における会議への協力。	A	A	A
		区分評価			A	

6. 指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>【自己評価】</p> <p>① ホームページの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新情報の更新(25 件) (内容) 当センター事業概要、自助具・福祉機器等の紹介、機関紙「たびだち」、企画講座の活動報告など。 ・「お問い合わせフォーム」により各種相談 (問い合わせに24時間対応)。 相談メール5件: 内訳 自助具についての照会など。 ・ホームページアクセス数 *() 内: 前期アクセス数 訪問回数 9,747 (10,594)回、ユーザー数 8,077 (8,858)人、ページビュー数 12,365 (13,504) ページ、前期に比べ訪問回数、ユーザー数、ページビュー数共若干減少した。 ※ 今回自助具のページビュー数は、6,051件と全体の50%を下回る程度であったが非常に関心が高い。 <p>② 福祉機器等の使用指導及び貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当センター事務室に福祉機器等を展示し障害に適した機器等の選定使用方法をアドバイスしている。福祉機器等を試用する場合1か月を限度として貸し出している。 ホームページには福祉機器、自助具を掲載し、新しい自助具の掲載に心がけている。 <p>③ 企画講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーラスあんさんぶる 音楽を楽しみ、仲間を意識したり自分を表現することを学ぶ良い機会である。 12月に行われた芸術祭のイベントの中で3年ぶりに出演し、練習の成果を発表するとともに、芸術祭に色を添えることが出来た。 参加者数 10/5(5名)、10/19(6名)、11/2(4名)、11/16(5名)、12/6(5名)、1/11(3名)、 2/1(4名)、3/15(6名)、3月のアンサンブルの中で2名の見学者があり、令和5年5月～本格的に参加を決められた。 ・「交通安全教室」歩行者シミュレータを利用した、参加体験型の教室を開いた。(10・23) ・「自助具講習会」センターの紹介、自助具についてのミニ講座、自助具(お菓取り出し器)の作成を行った。(11/12) ・「危険予知トレーニング(KYT)で防火を学ぶ」参加型の講座で、すぐに役立つこともあり大変好評だった。(3/2) ・出前講座 : 「障がい者の人権」 <ul style="list-style-type: none"> ・厚見中学校 参加者8名 「障がい者の人権」(10/28) ・梅林中学校 参加者20名 「障がい者の人権」(11/4) ・黒野小学校 参加者 4年生2クラス「障がいのある人の暮らし」参加者 66名(11/5)、 参加者 33名(11/8)、参加者 33名(12/12) 「『障がい』があるという事を考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・黒野小学校 参加者 66名(2/27) 「防災グッズを作ってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・白山小学校特別支援学級 参加者5名 (11/4) ・且格小学校特別支援学級 参加者4名 保護者4名 (2/17) 各学校で出前講座を開催した。まず、授業参観に出席している保護者向けに、当センターの役割等を知ってもらい、簡単な防災グッズの制作を親子の共同作業で行ってもらうもので、学校によっては2単元が割り当てられ、より細かく防災クイズなどで防災意識を高めることが出来た。 ・厚見中学発表 岐阜市第4ブロック人権教育研究会 参加者8名(11/28) ・理解啓発パネル展 12/3～9日 芸術祭と同じ時期に行われたパネル展に当センターからも自助具のパネルなどを展示して参加した ・人権啓発パネル展 12/5～9日) 人権啓発週間に合わせ開催されるパネル展に当センターから5枚のパネルを展示参加した。 ・内部研修 接遇研修 (10/13) ・外部研修 <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県相談支援事業者連絡協議会第7回ブロック学習会 (10/6) 岐阜県相談支援事業者連絡協議会第8回ブロック学習会 (11/24) 岐阜県相談支援事業者連絡協議会第9回ブロック学習会 (12/1) 岐阜県相談支援事業者連絡協議会第10回ブロック学習会 (1/5) 岐阜県相談支援事業者連絡協議会第11回ブロック学習会 (2/2) 岐阜県相談支援事業者連絡協議会専門別コース研修 (10/27) 高齢障がい者のための障がい福祉・介護連携 (11/18) 岐阜県発達障害者支援センター研修 (11/18) 親亡き後を見据えた障がい者支援における多職種連携について (11/18) 難病患者在宅療養応援員フォローアップ研修 (12/3) 令和4年度NSK東海北陸ブロック研修 (12/10)
--------------------------	--

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>ユーチューブ公開連続講座 第1回障がい児者支援を考える(重症心身障がい児及び医療的ケア児への支援) (12/1) 第2回障がい児者支援を考える(重症心身障がい児相談支援と療育について) (12/12) 第3回障がい児者支援を考える(在宅医療と家族に寄り添う災害支援と備えのデザイン)(1/12) 岐阜県発達障害者支援センター令和4年度支援者向け研修 (12/15) 岐阜県障害福祉課主催(障がい福祉・介護連携研修) (1/18) 岐阜県発達障害者支援センター第4回ナイトセミナー (1/20) 岐阜県精神保健福祉センター主催 令和4年高次脳機能障害支援関係者研修会 (1/23) 岐阜県障害福祉課特別研修 (1/26) 岐阜特別支援学校地域支援センター主催令和4年度特別支援公開講座Ⅱ (2/1) 障がい者就労支援セミナー「インクルーシブ社会の実現を目指して」(2/14)</p> <p>施設見学 共同生活援助「オレンジホーム」、生活介護「アンダンテ」 (10/18) 共同生活援助「アミティホーム寺田」、多機能事業所「アミティスマイル寺田」 (11/1) 共同生活援助「ふわふわ春近」 (11/7) ポッポの家 (11/14) 共同生活援助「リハビリランドさぎ山東」 (11/16) サンフレンドみわ (11/16) 共同生活援助「ソーシャルインクルー ホーム岐阜細畑」 (11/21) 共同生活援助「ひまわり」 就労継続支援B型「あおぞら」1/12 就労移行支援「マイルストーン」 (1/20) 共同生活援助「咲良」 (1/27) 就労継続支援B型「ゆらりて岐阜駅前」 (2/3) 就労継続支援B型「シャンツェ」 (2/20) 生活介護「アートフィールド」 (3/24)</p> <p>外部会議 活動センター管理打ち合わせ会 (11/2) 岐阜市障害者総合支援協議会第6回専門部会 (11/15) 岐阜市障害者総合支援協議会第7回専門部会 (12/7) 岐阜市ボランティア運営委員会 (1/31) 希望が丘特別支援学校移行支援会議 (2/21) ・「第29回岐阜市オンリーワンわたしたちの芸術祭」に、実行委員として参加している。 事務局に所属して企画・運営に携わった。(総会、実行委員会等、事務局協議 2回)</p>
<p>前回までの意見を踏 まえた取組み状況</p>	<p>【取組み状況(検討結果、取組中・取組済みのもの等)】 ・コロナ禍の中で、行けていなかった新規施設の見学が再開でき、それをセンター内で共有し、相談業務に結びつけることが出来た。 ・今期は障がい者の人権、障害を考える等についての出前講座6回、防災を考える出前講座2回の事業を通してセンターの役割も紹介しながら、障がい者、障がいに対する理解啓発を図ることが出来た。 ・毎回事業を進める中で感じることは、広報の難しさである。開催すれば大変好評で、良かった、今後の生活に取り入れていきたい等の言葉を聞くが、いかに相手に出席を促すことが出来るか、どのように周知するとよいのか毎回取り組む課題である。</p>
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつのきっかけを通して、輪が広がっていくように今期は障がい者の人権についての出前講座の依頼が多く来た。来季に向けてもその輪を広げながら、センターの目的の一つでもある、障がい、あるいは障がい者の理解と啓発に結び付けていきたい。 ・ホームページには行事等の詳細をタイムリーに紹介し、QRコードを使い、あるいは新作自助具をアップしたりと、少しでもユーザーの利便性を高め、そして障害者生活支援センターを知ってもらう努力を重ねている。 ・当センターを知ってもらい、相談業務に結びつけることと障がい、あるいは障がい者の理解と啓発につなげるために、出前講座、機関紙「たびだち」、企画事業等の機会をとらえて発信していきたい。

7. 所管課の意見

<p>・令和4年度上半期にアンケート回数を増やすよう意見したが、上半期5件から10件に増えた結果から、一定の取組み効果があったものと評価する。今後も多くの利用者からアンケートを提出いただき、利用者の生の声が事業に反映できるよう、取り組まれない。</p> <p>・「交通安全」「危険予知」など命を守るための講座を、体験型・参加型で実施されたことで、より受講者の理解が高まったものと考えられた。今後も受講者に配慮し、工夫をしながら講座内容を検討されたい。あわせて、出前講座等を通して、障がいに関する理解や啓発を継続して行っていただきたい。</p> <p>・相談支援の質の向上のために研修会や学習会への参加に取り組むを図られているが、今後、質の向上が利用者サービスの向上へとつながるよう取組を継続されたい。</p> <p>・コロナ禍で実施を控えていた施設見学を再開したことで相談業務に結び付き、相談件数が増えたことは、評価できる。今後も、ピアカウンセリングを実施できるセンターの特色を生かすと共に、関係機関との連携や広報活動等により、必要な人に必要な情報がいきわたるなど、新規の相談者数が増加する取組みを図られたい。</p>

8. 指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。
新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、5類感染症となったが、感染症対策を講じながら、利用者増に努めてもらいたい。